学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	デザイン表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザイン用具の用法、色彩や構成についての基礎知識を学び、創造的かつ計画的に作品制作を行います。
課題を通して表現技術の向上をはかるとともに、観察力や情報収集力を養い、社会におけるデザインの役割や意義を学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
実習をとおしてデザインに関る造形理論や用具材料などの基礎知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
デザインと社会との関りを考察して、目的に応じた適切な表現を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】
広い視野を持つことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的にデザイン技術の向上に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	デザイン用具の用法、色彩や構成についての基礎知識や表現技術を身に付けている。 観察や情報収集を的確に行い、計画的に課題をすすめることができている。 現代社会におけるデザインの目的・意義や役割を理解している。	デザインの目的・意義や役割について、広い視野で自ら考え、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し，創意工夫して表現する能力を身に付けている。	デザインの目的・意義や役割について興味・関心を持ち、実際のデザインワークを通して技術の習得に積極的に取り組んでいる。 創造的・実践的・協同的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	表現技法	・観察を基にしたデザイン表現（野菜・果物等の描写） ・描写を基にデフォルメ・簡略化・反復等の技法を用いたアイデアの考案 ・素材を基にした表現効果（画材・紙・モダンテクニック等） ・イメージ表現	a: デザイン用語に関する知識が身に付いている。視覚による的確な表現力を身に付けている。 b:目的に応じた表現を判断することができている。 c: 表現方法に興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	提出物、授業内の行動観察	提出物	提出物、授業内の行動観察
二学期	コンクール課題	・公募コンクールへの応募を目標として、作品制作をする。	a:テーマについて調べる技術を身につけている。目的に応じた表現をすることができている。 b: 表現方法の違いによって、見る人に与える影響も変わることを理解し、目的に応じた表現を判断することができている。 c: コンクールの趣旨について興味・関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	提出物、授業内の行動観察	提出物	提出物、授業内の行動観察
三学期	表現技法	・4コマスライド表現（起承転結を踏まえたストーリー考案と作品用のイラスト製作とデジタル表現）	a: 視覚による的確な表現力を身に付けている。デザインに必要なコンピュータ操作を正しく習得している。 b:、視覚による的確な表現を判断することができている。 c: グラフィックデザインについて関連に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	提出物、授業内の行動観察	提出物	提出物、授業内の行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度